

2019年4月1日
62号

かけはし

ひたちなか総合病院広報誌

発行所 株式会社製作所ひたちなか総合病院
〒312-0057
ひたちなか市石川町20番1
TEL 029(354)5111
発行人 飯嶋和秀
編集 広報委員会
<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>
※バックナンバーは当院ホームページに掲載しております。

ごあいさつ —地域を護る病院として—



院長 吉井 慎一

2019年4月、いよいよ2019年度が始まりました。私が院長に就任して、早くも2年が経過しました。2018年度は、主要診療科で医師の退職があり、不安な立ち上がりでしたが、職員が一丸となって皆様のご期待に最低限はお応えできたかと思いません。

茨城県は、以前より医師不足が大きな問題となっており、人口10万人あたりの医師数は最下位の埼玉県に次いで46位でした。今回、厚生労働省は、医師の年齢分布や人口動態を加味した「医師偏在指標」を公表しました。最下位は、岩手県であり茨城県は47都道府県の中で42位でした。これを全国の二次医療圏単位でみると、茨城県で最も順位が低いのは鹿行医療圏であり、335医療圏中329位、筑西・下妻が328位、常陸太田・ひたちなか（当医療圏）が315位、古河・坂東が265位、日立が260位となっており、これらは全国で下位33.3%に入ります。一方、上位33.3%では、つくばが4位、水戸が79位、土浦が93位となっております。この統計には急性期や慢性期の病院、医療介護施設、訪問診療所、診療所等、全ての医師が含まれています。今後は、絶対的な医師数だけでなく、診療科の偏在、勤務医と診療所医師のバランス等も踏まえた医療政策が必要になってきますが、すぐには解決できない問題です。

今年度の当院の状況は、外科専門医2名、整形外科医1名、泌尿器科医1名が増員となりました。また、耳鼻咽喉科医も1名増員となり、手術も再開の予定です。一方、茨城県でも特に内科医不足が深刻になっていますが、内科医3名が後期専攻医として勤務いたします。今以上に内科の総合力向上、各内科系診療科における専門性の維持、外科系手術の充実等、地域密着型急性期病院としての使命を果たして行きたいと考えています。また、今年度は3年ごとに策定している当院の中期経営計画の初年度になります。前述したように、この地域は訪問診療、介護施設を中心に医療資源が乏しく、地域包括ケアシステムの充実には、他の地域以上に医療介護連携・医療連携が重要となります。当院は、急性期病院として「地域を護る」だけでなく、地域の医療介護施設、中期・後期的には、行政や医師会とともに「地域を護る」ことが使命と考えています。是非、本年度もご支援下さいませよう宜しくお願いいたします。

最後に、これまでも何度か皆様にお願ひしましたが、当院は地域医療支援病院として、主に地域の医院、クリニック等から紹介された患者さんを中心に診療する責務があります。紹介状がない方の初診診療は、緊急性のある場合を除いてお受けできないことがあることをご了承ください。また、当院は302床のうち急性期病床は252床の中小規模病院です。ある程度急性期治療が終了した方は、地域の医療機関への転院や、訪問診療への移行のご相談をさせていただくことがあります。当院が急性期病院としての機能を十分に果たし、地域に貢献できるよう、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

ひたちなか総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

4月	日	月	火	水	木	金	土	5月	日	月	火	水	木	金	土	6月	日	月	火	水	木	金	土	7月	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	⑥								①	②	③	④					①		1	2	3	4	5	⑥	
4	⑦	8	9	10	11	12	⑬	5	⑤	⑥	7	8	9	10	⑪	6	②	3	4	5	6	7	⑧	7	⑦	8	9	10	11	12	⑬
月	⑭	15	16	17	18	19	⑳	月	⑫	13	14	15	16	17	⑱	月	⑨	10	11	12	13	14	⑮	月	⑭	⑮	16	17	18	19	⑳
	㉑	22	23	24	25	26	㉒		⑲	20	21	22	23	24	㉓		⑯	17	18	19	20	21	㉔		㉑	22	23	24	25	26	㉒
	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚			㉔	27	28	29	30	31			㉕	24	25	26	27	28	㉖		㉓	29	30	31			

■はひたちなか総合病院休日 ○は総合健診センター休日



神経内科



神経内科

大内 翔悟、儘田 直美、保坂 愛、柴垣 泰郎（左から）

神経内科は、脳、脊髄、末梢神経、筋肉などの疾患を扱う内科です。

具体的な症状は、頭痛、ふらふらするめまい、片側の手足に力が入りにくい、手足が震える、痺れる、言葉が出づらい、動作が鈍くなった、急に視野の一部が見えなくなった、物が二重に見える、歩きづらい、突然意識がなくなる、もの忘れなどの症状を診療しています。

対象疾患は、頭痛（緊張型頭痛、片頭痛、群発頭痛など）、認知症性

疾患（アルツハイマー病など）、神経変性疾患（パーキンソン病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症など）、脳血管障害（脳梗塞、一過性脳虚血発作）、てんかん、本態性振戦、ギランバレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー、多発性硬化症、重症筋無力症、などの疾患を診療しております。

必要に応じて、神経内科領域の特殊検査（頭部CT・MRI、頸動脈超音波検査、脳波、筋電図、神経伝導検査など）を行い、診断・治療に結び付けていきます。さらに、他院と連携し核医学検査（脳血流シンチグラフィ、MIBG心筋シンチ、DATスキャン）なども行っています。また、診断後に介護保険・特定疾患・身体障害者手帳などの申請に必要な書類を作成することで、適切な医療・福祉のサービスにつなげるお手伝いをしています。

特に認知症性疾患については、近年高齢化社会に伴い増えており、すべての人にとって無縁ではありません。症状が軽いときに受診することで、正確な診断、適切な治療・関わり方を知ることができ、進行を遅らせたり、症状が改善する可能性があります。さらに自宅で過ごせる期間が長くなることも期待できます。

現在、常勤医3名、非常勤医1名により外来診療を行い、病気の正確な診断と適切な治療を心がけています。上記のような症状でお困りの場合、一度神経内科にご相談ください。



ロコモ予防：体幹筋も鍛えましょう（シリーズ①）

リハビリテーション科 理学療法士 佐藤 誠

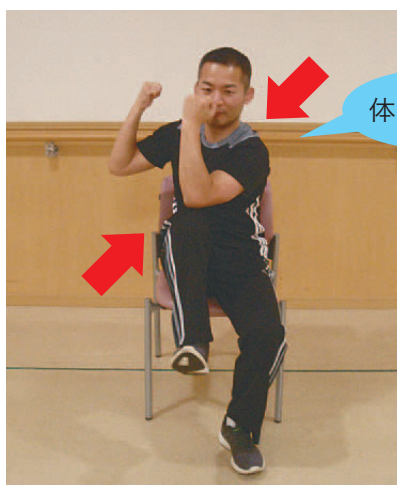
元気な足腰で歩き続けるためには、体幹筋（腹筋）が重要になります。座ってできる腹筋運動をすることで良い姿勢になり、また腰痛の軽減・予防にもなります。ロコトレに慣れてきたら、腹筋運動も追加してみましょう。

【座ってできる腹筋運動】



姿勢はまっすぐ

同側の膝が肘につくように上げる
5～10回
(できる範囲)
1日2～3セット
が目安



体をねじる

反対側の膝が肘につくように上げる
5～10回
(できる範囲)
1日2～3セット
が目安

地域の先生紹介 ハートクリニック松本

●当院の歴史と特徴

循環器内科を標榜し1997年に開業して以来21年を超えました。心房細動などの不整脈や虚血性心疾患の診療に特化したクリニックをめざしており、高血圧・脂質異常症および糖尿病などの生活習慣病全般の診療を続けています。

特にホルター心電図・トレッドミル運動負荷試験・心エコー検査については受診当日に実施することとしています。また、かかりつけ医として患者さんの訴えをよく聞き、できるだけ少ない医療資源を使い病診連携・診々連携を活用し効率の良い診療で地域医療に貢献したいと思っています。

●院長の横顔

ひたちなか市高場の生まれで佐野小学校、佐野中学校、水戸第一高等学校から北里大学へ進学、卒業と同時に卒業生の出る直前の筑波大学附属病院のレジデントとなり循環器内科医局に入局、6年間の大学病院生活のあと、(株)日立製作所水戸総合病院（当時）で13年半勤務後、開業しました。

趣味は大学の部活動以来続けているヨットで、マリンスポーツは大好きです。リフレッシュには舟遊びは良いものです。ご一緒にいかがですか？



院長 松本 龍馬



診察・検査の予約お問い合わせは地域医療連携室へ

(株)日立製作所ひたちなか総合病院 8時15分～16時30分（平日月曜日～金曜日）
茨城県ひたちなか市石川町20番1 TEL 029-354-5202（直通）
TEL 029-354-5111（代表） FAX 029-354-5220（直通）

挨拶で円滑なコミュニケーションを！

職場の仲間、家族、周囲の方と円滑なコミュニケーションをとるための方法についてご紹介します。挨拶には「心を開いて相手に触れる」という意味合いがあり、挨拶をしないということは「あなたに触れたくありません」という意思表示になってしまいます。気まずくなった相手にはなおのこと挨拶をすることが重要です。

コミュニケーションの入り口は挨拶です。

～まず、挨拶の自己点検を!!～

あ：相手の顔を見て挨拶していますか？

相手の顔を見て挨拶すれば、自然に相手の気持ちや体調を表情などから汲み取ることができます。できるだけしっかり相手の顔を見て挨拶しましょう。

い：いつもの笑顔で挨拶していますか？

笑顔で挨拶することで、お互いの気持ちをリラックスさせることができます。せつかく挨拶してもふくれっ面では気持ちが伝わりません。

さ：さわやかに声を出して挨拶しましょう。

相手の挨拶を待つのではなく、自分からさわやかに声を出して「おはようございます」と挨拶しましょう。声を出して挨拶することで相手との距離は一気に短くなります。

つ：常に挨拶を返しましょう。

挨拶は交換するものです。相手から挨拶されたら返さねばなりません。顔を見て、笑顔で「おはようございます」と明るく挨拶を返してみましょう。

一日の大半を過ごす職場で、あなたは普段からこれらのことを実行していますか？ご家庭ではいかがでしょうか？まずは自分から挨拶を始めてみましょう！

「看護の日」イベント開催のお知らせ

当院主催の「看護の日」イベントを開催いたします。今年のテーマは「自分の生活習慣から健康を考えよう」です。

健康チェックをはじめ、骨折しない体づくりや、より健康な食生活へのレシピ、手のツボ押しとハンドマッサージなどミニ講座やプチ体験のほか、当院職員によるミニコンサートをお届けします。

入院患者さんはもちろんのこと、ご家族、ご友人など、お誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

【日 時】 5月11日（土）14：00～16：00

【場 所】 病院1階ロビー 【参加費】 無料

【お申込み】 事前のお申込みは不要です。当日、直接会場へお越しください。

【お問い合わせ】 看護局 笠井・川上 TEL029-354-5111（代表）



◆◆◆◆ 医師異動の紹介 ◆◆◆◆

診療科	氏 名	異 動 日
内 科	大 内 翔 悟	退職 (2019. 3. 31)
	山 岸 哲 也	退職 (2019. 3. 31)
	市 川 誉 基	採用 (2019. 4. 1)
	鈴 木 覚	採用 (2019. 4. 1)
循環器内科	丸 田 俊 介	退職 (2019. 3. 31)
	大 津 和 也	退職 (2019. 3. 31)
	崔 星 河	採用 (2019. 4. 1)
	一 戸 貴 子	採用 (2019. 4. 1)
呼吸器内科	松 田 峰 史	採用 (2019. 4. 1)
消化器内科	水 井 恒 夫	退職 (2019. 3. 31)
	萩 原 悠 也	採用 (2019. 4. 1)
	城 山 真美子	採用 (2019. 4. 1)
消化器外科	真 船 太 一	採用 (2019. 4. 1)
	保 清 和	採用 (2019. 4. 1)
整形外科	桂 健 生	退職 (2019. 3. 31)
	平 林 匠	採用 (2019. 4. 1)
	渡 邊 和 匡	採用 (2019. 4. 1)
耳鼻咽喉科	宮 島 義 明	採用 (2019. 4. 1)
泌尿器科	田 沼 光三郎	採用 (2019. 4. 1)
歯科口腔外科	上 杉 篤 史	退職 (2019. 3. 31)
	清 水 梨 沙	採用 (2019. 4. 1)
水戸健康管理センタ	有 賀 駿	退職 (2019. 3. 31)
臨床研修医	西 野 顕 吾	退職 (2019. 3. 31)
	青 柳 萌 花	退職 (2019. 3. 31)
	藤 井 理 美	退職 (2019. 3. 31)
	古 野 慎太郎	退職 (2019. 3. 31)
	勝 村 佐 保	退職 (2019. 3. 31)
	鷲 見 晶	退職 (2019. 3. 31)
	堀 籠 祐 一	退職 (2019. 3. 31)
	加賀屋 駿	退職 (2019. 3. 31)
	黒 田 啓 介	退職 (2019. 3. 31)
	松 村 文 明	退職 (2019. 3. 31)
	上 田 千 紘	退職 (2019. 3. 31)
	山 中 俊	退職 (2019. 3. 31)
	鈴 木 李 理	退職 (2019. 3. 31)
	川 面 貴 彦	採用 (2019. 4. 1)
	菊 池 啓 太	採用 (2019. 4. 1)
	長谷川 瑛 里	採用 (2019. 4. 1)
	山 岸 和 美	採用 (2019. 4. 1)
	上 原 悠 治	採用 (2019. 4. 1)
	中 島 兆 子	採用 (2019. 4. 1)
	新 野 七 恵	採用 (2019. 4. 1)
	千 葉 桃 子	採用 (2019. 4. 1)
	高 橋 瑞 季	採用 (2019. 4. 1)
	伊 藤 弘 樹	採用 (2019. 4. 1)
	木 村 真 緒	採用 (2019. 4. 1)
	澤 藤 拓	採用 (2019. 4. 1)
	中 柴 徹 也	採用 (2019. 4. 1)
高 橋 洋 人	採用 (2019. 4. 1)	
安 富 元 彦	採用 (2019. 4. 1)	
針 替 研 太	採用 (2019. 4. 1)	
河 原 将 人	採用 (2019. 4. 1)	
吉光寺 直 哉	採用 (2019. 4. 1)	